

皆さんの思いをお聴かせください！！



パーパスとは…？

「パーパス」とはその組織の存在意義。例えば、ソニーグループは「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす。」というパーパスを軸に経営されています。

滋賀県では…？

これまで、本県でも「滋賀県職員の志(パーパス)※」＝「何のために、誰のために、私達が今、滋賀県職員として共に働いているのか」を議論してきました。※「地方公共団体としての滋賀県のパーパス」をこのように表現しています。



今回、ワークショップなどで得られた職員の皆さんの思いをもとに、候補案を8つ作成しました。簡単な質問を用意しましたので、皆さんがどの候補案に共感されるか、下記のURLまたはQRコードからご回答をお願いします！（12月1日～12月17日）



| | |
|---------------------|---|
| L GWAN利用の方(共通事務端末等) | https://ttzk.graffer.bsnet.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/4481917327178157185 |
| インターネット利用の方(スマホ可) | https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/4481917327178157185 |



| | |
|---------|---|
| 候補案1 | みずべの暮らしを未来につなぐ |
| 志に込めた思い | 「生活の場」である琵琶湖を取り巻く湖国・滋賀に寄り添う暮らしや、時間の流れの中の今を大切にするとともに、「環境」に強いこだわりを持つ県であり続け、何よりも県民に良い施策を実施し、住んでよしと後世に誇れる県でありたいという思いを込めました。 |
| 候補案2 | 琵琶湖と生きる。笑顔を広げる。未来へつなぐ。 |
| 志に込めた思い | 琵琶湖を滋賀県の象徴として県民のために生き(働く)、自然・歴史・文化を大切に豊かな社会を築くとともに、県民の皆さん一人ひとりが笑顔でいられる滋賀県をつくり、将来を見据えた持続的で幸せな社会を子どもたちに引き継いでいく思いを込めました(三方よしの精神を琵琶湖・笑顔・未来で表現しました)。 |
| 候補案3 | くらしに寄り添い、縁をつなぎ、未来に笑顔をお届けます |
| 志に込めた思い | 住み続けたいと思ってもらえるよう、弱い立場にある人に寄り添い誰一人取り残さず、また国と市町／企業・生産者と消費者／困っている人と支援者などをつなぎながら、将来を見据えた持続的な社会・県民の皆さん一人ひとりが幸せを感じ笑顔でいられる滋賀県をつくるという思いを込めました。 |
| 候補案4 | 琵琶湖と自然を愛し、ありがとうと笑顔で未来を豊かに |
| 志に込めた思い | 滋賀県民のアイデンティティである琵琶湖・自然を愛する思いを職員が持ち、率先して取り組むこと、また、三方よしを意識して、県庁(売り手)と県民(買い手)双方に「感謝」と「笑顔」が行き来して社会みんな(世間)が幸せを感じ続けられる、より良い未来を創りたいという思いを込めました。 |
| 候補案5 | 琵琶湖と暮らしを守り、幸せを三方よしでつないで未来を豊かにする |
| 志に込めた思い | 近江の地で古来より連綿と続く人々の暮らしを守るとともに、施策を実施検討する際に大切にしてきた三方よしの精神で、人々の笑顔(幸せ)をつなぎ、滋賀県をより豊かに発展させていきたいという思いを込めました。 |
| 候補案6 | 琵琶湖・滋賀を支える人に感謝し、縁をつなぎ、すべての人に笑顔あふれる暮らしを創る |
| 志に込めた思い | 滋賀県の象徴である琵琶湖や文化的要素も含めた滋賀を守り・支える多くの方々がいらっしゃることに感謝し、その方々の力をつなげ、つながることで、我々滋賀県職員は、世界も見据えた滋賀に関わるすべての人に、笑顔ある暮らしを創っていきたいという思いを込めました。 |
| 候補案7 | 私たちは、先人が育てた滋賀の恵みを受け継ぎ、現在(いま)に新たな価値を創造することで、未来の笑顔へつなぎます |
| 志に込めた思い | 過去・現在・未来それぞれの時代を生きる人々の思い・命は連綿とつながり、琵琶湖をはじめとした豊かな自然・歴史・文化そしてそこから生まれる恵みを享受していることを自覚し、三方よしの精神であらゆる分野で更なる発展にチャレンジして、幸福・喜び・安心を象徴する笑顔をつなげたいという思いを込めました。 |
| 候補案8 | 滋賀に関わるすべての人の「ありがとう」を聞くために、三方よしの精神で、豊かな滋賀を未来の子どもへつなげます |
| 志に込めた思い | 滋賀県に住む(過去・現在・未来)、働く、訪れる、愛する人すべてに寄り添い、その方々の「ありがとう」のために仕事をするということ、また、三方よしの精神を引き継ぎ、自然・歴史・文化・こころなど様々な豊かさを創造し、次世代の子どもたちに魅力ある滋賀を引き継いでいくという思いを込めました。 |